

No.215

〈編集・発行〉社会福祉法人 小海町社会福祉協議会 / 〒384-1103 長野県南佐久郡小海町大字豊里805番地 TEL. 92-4107(代) FAX. 92-2457

長野県共同募金会小海町支会より 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動結果報告

令和6年度 赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金集計表

NO	地区分団名	合計	NO	地区分団名	合計	NO	地区分団名	合計
1	本間下	141,000	13	八那池	133,500	25	卒道	34,000
2	本間上	106,100	14	松原	87,000	26	笠原	15,000
3	宮下	36,000	15	芦平	24,000	27	宿渡	30,500
4	本間川	61,000	16	稲子	88,500	28	土村南町	74,100
5	溝の原	31,000	17	二タ小池	48,300	29	土村旭町	67,000
6	五箇	12,000	18	箕輪	22,000	30	土村栄町	94,000
7	杉尾	30,000	19	芦谷	64,500	31	土村清水町	48,500
8	馬流元町	54,500	20	小海原	6,000	32	東馬流	120,750
9	馬流高根町	45,000	21	中村	26,000	33	大州	19,000
10	馬流本町	42,000	22	本村	122,000	34	大畑	62,000
11	馬流清水町	33,950	23	親沢	112,500			
12	鑑掛	104,000	24	川平	45,000		合計	2,040,700

日赤奉仕団員の皆様が伺い集めさせていただきました共同募金。2,040,700円の心温まる募金が集まりました。長野県共同募金会に納めさせていただきました「地域の助け合いや福祉活動等支援等に使われます。皆々様、ご協力ありがとうございました。

令和6年度 ご近所支え合い講座のお知らせ

わかりやすい終活 ～成年後見・相続などの基礎知識～

*日 時 令和7年3月2日(日) 13:30～ (受付13:00～)

*場 所 小海町総合センター 多目的ホール

*講 師 司法書士法人 山際・竹花合同事務所
司法書士 山際隆浩氏

*参加対象 小海町にお住まいの方、小海町で働いている方

*参加費 無料

参加申込…2月26日(水)までに社会福祉協議会 (92-4107) へお申し込みください。



小海町シニアクラブ連合会 「しめ縄づくり」



小海町シニアクラブ連合会では、毎年暮れにしめ縄づくりを行っております。

今年度は、12月17日に総合センターで行いました。わら、松、豆がら等を持ち寄り、昆布、炭、みかん、紙垂を付けた三間物や、棒締めなどをつくり、小海町役場や交番などの公共機関や施設に配り、飾って頂きました。皆さんの目にも留まったかと思えます。

しめ縄の「しめ」という言葉は、「神様の占める場所」という意味があるとされ、自分の家が、年神様を迎えるのにふさわしい神聖な場所であることを示すために始まったといわれています。12月18日には、小海なかよし児童館で、世代間交流ということで、児童と一緒にしめ縄づくりを行いました。これからもシニアクラブでは地域の伝統である「しめ縄」づくりを、子供達や地域に伝えていきたいと思えます。



フードドライブ事業にご寄付をいただき、有難うございます

1月6日にたかちゃんふぁーむ様、1月20日に(株)新津組様よりフードドライブ事業に寄付をいただきました。地域福祉の為に大切にに使わせていただきます。有難うございました。



沢山のリンゴジャムをいただきました！ クラッカーと乾パンをいただきました！



義援金募金のお願い

令和6年能登半島地震災害・大雨災害義援金については、皆さまには、日ごろあたたかい支援を賜り大変感謝申し上げます。未だ被災地において支援が必要な状況が続いております。皆さまから寄せられた災害義援金は、赤十字社長野県支部を通じて被災地へ送金させていただきます。引き続きご支援よろしくお願いいたします。



子ども食堂を始めてみませんか？

「子ども食堂」に明確な決まりや正解はありません。それぞれの想いや志に添った「自分たちの子ども食堂」を展開しています。大事なのは「地域に、みんなが気軽に集まれる居場所がある」という事です。

小海町でも2つの団体が子ども食堂をされています。あなたも子ども食堂を始めてみませんか？

立ち上げのことや助成のこと、自分で始めるのは難しいけどお手伝いはしてみたい、こんな場所があったら行ってみたい等、何でも社会福祉協議会にご相談ください。一緒に考えましょう！



第40回 佐久地区ボランティア・地域活動フォーラムが開催されました

「第40回佐久地区ボランティア地域活動フォーラム」が11月29日に川上村文化センターを会場に開催されました。

昨年の1月1日に発生した能登半島地震、これをきっかけに、より災害支援への意識が高まっています。今回は「災害」をテーマにボランティアへの理解を深める機会となりました。



能登半島地震の災害支援活動をしてきた長野県社会福祉協議会の山崎氏をコーディネーターに、災害ボランティアセンターの支援活動をした軽井沢町社協職員、福祉避難所の支援をした佐久穂町社協職員、個人ボランティアとして災害支援に行かれた御代田町の方、3名のパネラーそれぞれの立場でのお話をお聴きしました。

「被災者を応援したい気持ちがあって、自分に何ができるか分からなかったがとりあえず行った。」「ここが被災者の生活空間であることを忘れずに、心に寄り添いながら活動することが大切だと感じた。」

また、「被災地に行くことばかりでなく、寄付や特産品を購入することでも支援はできる。」など、被災地での活動時期、場所、支援内容は異なるが、根底にあるのは被災者への思いでした。



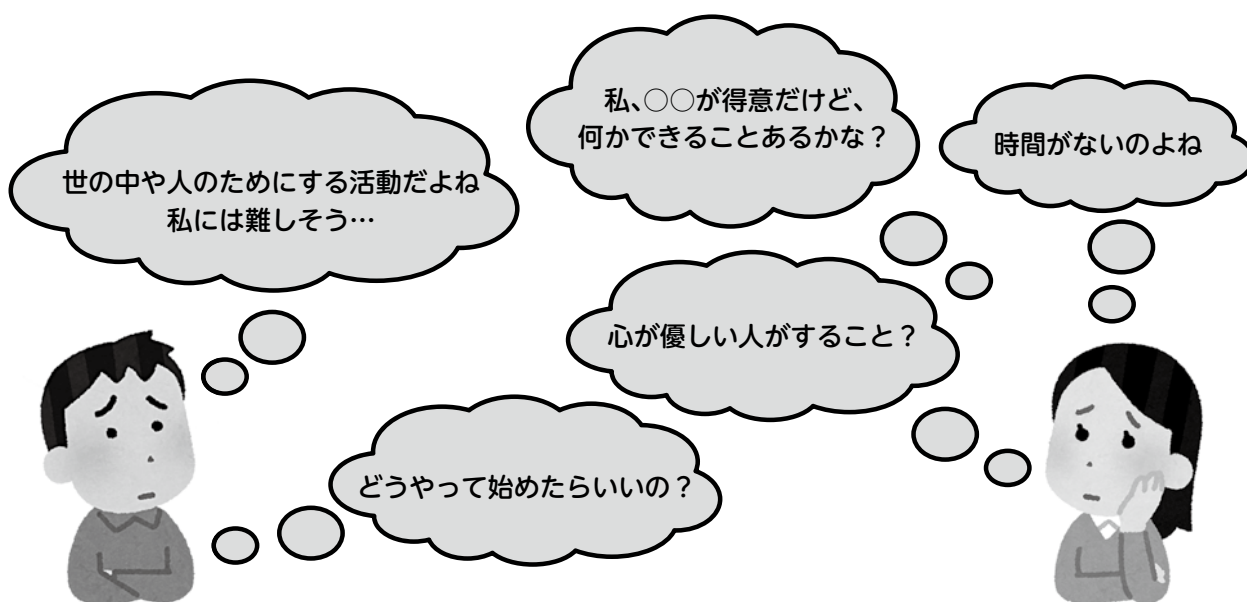
災害時支援の土台となるものは、日ごろの地域の力です。地域の支え合いを進めるために日常的に顔の見える関係をつくるのが大事なことでと学びました。

小海町からは日頃ボランティアとして活動してくださっている方をはじめ約20名の方が参加されました。ご参加ありがとうございました。

小海町ボランティア連絡協議会 ボランティア募集！

小海町ボランティア連絡協議会は、現在14団体、約130名の方が加入し活動しています。紙芝居、子供たちの見守りやサポート、傾聴や話し相手、町の環境整備、など幅広い活動をしています。

皆さん「ボランティア」って聞くとどんなことを思い浮かべますか。



なんだか難しく考えていませんか？

ボランティアは、誰にでもある自然な気持ちから始まる活動です。そして、自分の興味や関心、自分の時間や生活に合わせて参加できる活動です。

「身近な人が困っているのを助けたい」「ここに花を植えればきれいだよね」など、きっかけはとても小さなことです。身近にある「ほっとけない」「気になる」思いからボランティアは始まります。自分らしさを大切にしながら、あなたもボランティア活動の一步を踏み出してみませんか。

ボランティアに興味のある方は、社会福祉協議会（92-4107）までご連絡ください。

社会福祉協議会では「小海町ボランティアポイント手帳」を発行し、活動内容に応じP-ポイントを付与します。

すでに活動している皆様で、P-ポイントに交換されていない方は社協までお持ちください。

